

2024年度 運輸安全マネジメント



寝屋川バス 株式会社

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1. 社長及び役員は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
2. 輸送の安全の確保に関する声の傾聴など、現業の状況を把握した上で、全社員に対しても輸送の安全の確保を浸透させ、定着させます。
3. 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施するとともに、安全対策を不断に見直し、全社一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
4. 輸送の安全に関する情報については、積極的にホームページ上で公表します。

2. 輸送の安全に関する2023年度安全目標および当該目標の達成状況

年度	重大事故件数	単独物損事故件数	内後退事故件数
2023年度目標	0件	8件以内	3件以内
2023年度結果	0件	10件	4件
目標に対しての結果	0件	+2件	+1件
2024年度目標	0件	8件以内	3件以内

【2024年度 安全目標】

1. 重大事故件数0件を達成します
2. 有責事故件数8件以内を達成します
3. 後退事故件数3件以内を達成します

【寝屋川バス 安全方針 3原則】

1. 安全な輸送が最優先
2. 法令遵守の徹底
3. 安全意識・取組の向上

3.自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

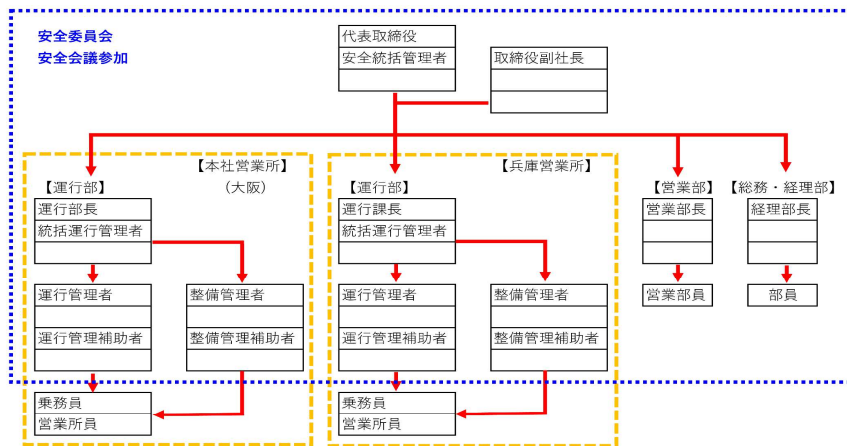
2023年度は自動車事故報告規則第2条に規定する事故(重大事故)はありませんでした。

4.輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統

社内にて安全の確保について適切な対応が取れる様に、必要な体制を構築しております。指示・決定事項や注意事項については安全統括管理者より各拠点責任者へ伝達を行い、全営業所への周知が行き届く様に管理体制を整えております。また運輸安全マネジメントに関する組織として安全委員会を設置し、代表取締役をはじめ各セクションの代表者が集まり、月例で安全会議を必ず行い全ての安全に関わる事案について話し合い意見交換する場を設けております。

【輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統図】

寝屋川バス株式会社



5.輸送の安全に関する重点施策計画

①安全意識の継続的向上

- ・全社員が事故・違反を起こさない気持ちと意識を高く持ち、継続して取り組む
- ・あおり運転等に応じず防衛運転に徹し、常に譲る気持ちを持ちプロとしての運転に徹する

②健康管理の強化

- ・全社員の健康管理体制を推進し、健康不良による起因事故の防止を図る

③労務管理の強化

- ・改善基準告示を遵守し、過労運転防止のための対策を進めていく。

6.輸送の安全に関する計画

1.年間教育計画に沿った乗務員集合研修の実施

- ・対話を重視しコミュニケーションを図り、自分で考え動き発する研修を行う

2.ドライブレコーダーを活用した教育研修の実施

- ・ヒヤリハットデータ収集の強化し、自社事故事例と共に研修にて周知を行う

3.大型バス・中型バスへのスキルアップ研修の実施

4.事故・災害訓練・救急救命講習の実施

- ・事故訓練については継続実施し、予定が合えば災害時、救急救命訓練も実施する。

5.大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストの参加

- ・こちらも継続実施し、引き続き受賞できる様に取り組む。

6.社外実務研修・講習の積極的な受講

- ・クレフィール湖東/運管一般講習/NASVA安全マネジメント関連講習/整備実務講習など

7.健康管理体制の強化

- ・SAS検査・脳ドックの受診定着化、産業医や保健師との面談実施による健康意識の向上
- ・社員の人間ドック受診を検討し、健康で働ける環境を構築・推進する。

7.輸送の安全に関する予算等

1.社内研修予算		
①乗務員年間計画研修	25名	¥500,000
②冬季実地(雪上)研修	10名	¥500,000
③新入乗務員育成研修	5名	¥500,000
	研修関連予算計	¥1,500,000
2.運行管理予算		
①安全マネジメント教育研修	2名	¥30,000
②NASVA適性診断〈一般〉	15名	¥48,000
	〈初任〉	5名
	〈適齢〉	0名
		¥0
③NASVA運管一般講習受講	1名	¥8,800
④NASVA運管基礎講習受講	1名	¥8,900
	運行管理予算計	¥119,700
3.車両設備投資予算		
①衝突軽減ブレーキ	5台	¥2,650,000
②異常時対応システム	5台	¥1,500,000
③ドライバーモニター	5台	¥400,000
④コーナーセンサー	5台	¥1,250,000
⑤スタットレスタイヤ	4台	¥1,000,000
	車両設備予算計	¥6,800,000
4.健康管理予算		
①定期健康診断 年二回	50名	¥400,000
②SASスクリーニング検査	15名	¥67,500
③脳ドック検診	5名	¥150,000
	健康管理予算計	¥617,500
	予算総額	¥9,037,200

8.事故、災害時における報告連絡体制

※別紙の危機管理系統図(PDF)にて緊急時対応の方法及び連絡先を確認しております。

9.安全統括管理者、安全管理規定

安全統括管理者…代表取締役 田嶋 仁一

※別紙の安全管理規定全文(PDF)をご参照下さい。

10.輸送の安全に関する教育および研修の計画

※別紙の年間教育計画(PDF)をご参照下さい。

11.自社内部監査の結果及び是正措置

2023年3月に、自社監査員1名による運輸安全マネジメント内部監査を行いました。

2022年に続き市場が急激に回復し稼働が増加したことに比例し事故件数は

目標数値に対して増加となり、残念ながら目標達成する事ができませんでした。

社内研修等も実施はされているものの、今後はより効果を重視した対策が必要と考えます。

WEBラーニングも定着しつつあり、今年は映像研修を増やし効果の高い研修を目指します。

また実技研修はより特化した内容で実施し、事故原因に対しての改善・周知を図ります。

健康管理体制も強化し、健康起因による事故防止を目指して参ります。

12.輸送の安全に関する行政処分等の情報公開

2023年度、弊社の輸送に関わる行政処分はございませんでした。